

提案の評価方法

(1) 評価基準の適用

本評価基準については、一次審査及び二次審査において適用する。

(2) 評価方法

選定委員は、別記「評価基準表」の「評価の視点」に基づき評価する。

評価の段階の基準は次のとおり。

段階	評価の段階の基準	評価点
A	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が実践可能かつ効果的であるなど、特に優れている。	配点×1.0
B	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が、実践可能かつ効果的であるなど、優れている。	配点×0.8
C	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されている。	配点×0.6
D	「評価の視点」の内容等に関して、やや不十分である。	配点×0.4
E	「評価の視点」の内容等に関して、不十分である。	0点

(3) 順位について

① 選定委員ごとに合計点に基づく提案者の順位を決定し、順位点を算出する。ただし、評価中に「E」がある場合は、当該提案者については、選外と取り扱うものとし、次の②から除外する。

② 順位点は次のとおりとする。

一次審査	1位…5点、2位…4点、3位…3点、4位…2点、5位…1点、6位以降…0点
二次審査	1位…3点、2位…2点、3位…1点

③ 選定委員全員の順位点の合計点に基づき、一次審査及び二次審査における提案者順位を決定する。ただし、二次審査では、一次審査で配点された順位点の合計得点に、二次審査で配点された順位点の合計得点を加算して最終順位を決定する。

(4) 順位点と同じであった場合の取り扱い（一次審査及び二次審査共通）

次のとおり上位者を決定する。

- ① 評価基準表中の「企画提案」の合計点が高い者
- ② ①が同じであった場合、評価基準表中の「提案者の適正」の合計点が高い者
- ③ ②が同じであった場合、提出された見積金額の低い者

【別記】評価基準表（一次審査）

評価項目		評価の視点	配点
の提案者 の 適 正 者	企業規模	企業の業務内容から本業務に適しているか。	10
	20点 業務実施体制	配置担当者の編成の妥当性や担当する分担業務の内容が適正であるか。	10
企 画 提 案	課題①に対する提案	事業の規模にあった周知方法であるか。	20
	課題②に対する提案	受付場所が最寄り駅から直線距離でどれくらい離れているか。 距離を測定する起点は「JR相模線」「小田急小田原線」「相模鉄道本線」のいずれかの改札口からとします。 「A」・・・500m以内 「B」・・・700m以内 「C」・・・900m以内 「D」・・・1,000m以内 「E」・・・1,000mを超えるもの ※「E」となった場合でも、選外として取り扱わないものとする。	15
		受付施設の設備状況が十分であるか。	10
	65点 課題③に対する提案	受付や審査を円滑に行える実施体制であり、制度の習熟、接遇等の従事者の能力向上を図るための研修体制となっているか。	20
工 業 務 10点	妥当性	募集開始する令和8年7月1日までの実施体制が整備されているか。また、募集開始してからの実施体制が整備されているか。	10
見 積 額 5点	妥当性	以下の計算方式による相対評価とする。 ・提案者全体の見積額のうち最低見積額＝a ・当該提案者の見積額＝b 【計算方式】 $a \div b \times 5 = \text{配点}$ （小数点以下第1位を四捨五入） ※上記の計算により配点が1点（「E」相当）となった場合でも、選外として取り扱わないものとする。	5
合 計			100

【別記】 評価基準表（二次審査）

評価項目		評価の視点	配点
プレゼンテーション	理解力	業務の背景や手続等に関する内容について、十分理解しているか。	10
	提案力	説明が企画提案書の内容をよく補完しているものとなっているか。	10
	取組意欲	事業に対する積極性や業務達成に向けた意欲があるか。	10
ヒアリング	コミュニケーション能力	質問に対する応対が迅速かつ適格であるか。	10
	表現力	質問に対する応対が誰にでも理解できる内容であるか。	10
合 計			50